

愛知県医師連盟ニュース

発行所
愛知県医師連盟
〒460-0008
名古屋市中区栄4の14の28
愛知県医師会館内
TEL052(251)2500

第47回衆議院議員総選挙の結果について

第47回衆議院議員総選挙は、平成26年12月2日公示、12月14日投開票の日程で行われ、愛知県医師連盟の組織候補である今枝宗一郎代議士を始め、当連盟が推薦した23名の候補者中21名が当選されました。



ご挨拶

愛知県医師連盟委員長
柵木 充明

委員長の柵木でございます。ご承知のように12月14日の日曜日に衆議院議員総選挙の投開票が行われました。この選挙は、アベノミクスの是非、消費税増税の時期をめぐる11月21日、安倍総理が衆議院を急遽解散し、与野党が短期決戦で臨んだ選挙でした。

愛知県におきましては15選挙区すべてに地区医師連盟の推薦を基に愛知県医師連盟が推薦した候補者がございました。推薦候補者は、重複候補が8選挙区あり合計しますと23名に及びました。

今回、候補者を推薦するにあたり選挙公約として各候補者と愛知県医師連盟との間で政策協定書を締結しています。各候補者の皆さんには愛知県医師会館に来館して頂き、医師会、医師連盟の活動にご理解を賜るとともに推薦状、必勝と書かれた為書き、それと陣中見舞をお渡ししました。

選挙結果につきましては、皆さんご承知の通りと思います。この連盟ニュースの後半にも各候補者の得票数と当落を記載してありますが、推薦した候補者23名の内、21名が小選挙区若しくは比例復活で当選しています。当連盟の組織候補である今枝宗一郎君（代議士）も見事再選を果たしております。

私も2年前になる今枝君（代議士）の初陣の時から今回も含めて、機会あるごとに、多方面で今枝君へのご支援、ご協力を求めて参りましたので開票時間が待ち遠しく、結果が出るまでは居ても立っても居られず、自らも選挙事務所に張り付くこととしました。

当日の夕方には豊川市内に入り午後7時頃には

選挙事務所に行き、当選と同時に万歳が出来るように用意万端準備しておりました。私が選挙事務所に着いた時には、愛知県にある5テレビ局の中継車が駐車場に並んで止めてあり、しかも選挙事務所内の中央にはカメラ台が設置され、それぞれのテレビ局はいつでも撮れるように整っておりました。各テレビ局が何台もの中継車を持っているわけではございません。おそらく、すでに彼（今枝候補）の当確を察知して午後8時には当確が出て万歳をやるだろう、その後、次々（他の候補の事務所）に移動して放映するシナリオになっていたと思います。

この当確情報は、すでに今枝君（代議士）の選挙事務所の方にも入っていましたので、私も心の準備をし、お立ち台も用意して万歳に備えていたわけでございます。情報通り午後8時過ぎには今枝君（代議士）の当確がテレビで流れるや、私は今枝君（代議士）のすぐ横で選対の仲間と一緒に万歳をし、医師会・医師連盟の候補者として称賛したことを昨日のように思い出しております。

医師会館には開票日以降も毎日のように当選した多くの候補者、特に自民党議員が御礼の御挨拶にみえて、異口同音におっしゃったことは「こんなに早く今枝議員の当確が出るとは思わなかった」とか「今枝君はいいなあ。医師会がついているから。さすが医師会だなあ」と感心しておられました。

この様に他の候補者が羨むほど愛知県医師連盟が、その代表の私が、何故これほど今枝君（代議士）に肩入れをするかという事はこれまで色々な機会をとらえて先生方にお話ししてきました。ですから、「この話は耳にタコが出来ているよ」と思われるかもしれませんが、もう一度ここで話ししておきたいと思います。

それは愛知県医師連盟、医師会が全くの素人である今枝君（代議士）を政治家にしたからです。全くの素人を政治家にしたのは今枝宗一郎君（代議

士) だけだと思います。参議院選挙で武見敬三先生や羽生田先生を送り出したのは日本医師会・医師連盟ですが、地方の衆議院選挙で候補者をピックアップし、党に頼んで、しかも選挙区までこちらが指定して政治家にしたというのは、全国をみても初めての事だろうと思います。

今枝代議士の誕生の秘話ですが、以前、先輩から「愛知県の医師連盟は何をやっているのだ。いつも政治家のパーティーがある度にパーティー券を5枚だの10枚だの買って、色々な代議士に頼まれているだけではないか。一層の事、医師連盟で政治家をつくってはどうか」とサゼッションを受けたわけでございます。これが6~7年前になりますが、私が副会長になって県医師会に来た頃だと思います。それなら、やろうではないかと心の中に決意した訳でございます。

それで今枝宗一郎と言う人材を見出したのが5年前になります。「選挙に出たい」といったのが今枝君(代議士)で、「先生、誰かいい候補者はいませんか」と言ってきたのが自民党愛知県連、そして「この人を政治家にしたい」といったのが愛知県医師連盟であったのです。この3つがうまいこと、複雑なパズルがピタッと合ったのです。本当に狭い間隙の中に今枝宗一郎が入った訳です。今から考えてみますと、普通は皆さんの選挙区でもそうでしょうけれども、大体は地元の市会議員とか県会議員で、長いこと議員を経験したので国政に出ようかと言う人が必ずいるのです。それで愛知県の14区では、たまたま県議同士が足の引っ張り合いをしているという環境があつて、しかも代議士だった人が途中で戦闘意欲をなくしてしまい自民党愛知県連が候補者を探していたのです。

自民党愛知県連の当初の考えは、第1区か2区でした。1区と言えば河村名古屋市長の地盤ですね。2区と言えば古川元久さんの選挙区ですね。そこがダメなら5区はどうかとの話もありました。5区は赤松さんの選挙区で、いずれも有力な議員ばかりの選挙区で自民党新人候補が当選など絶対できないところばかりでした。

その様な経過がありました。14区が空いたと聞き、ここならいいだろうという事になったのです。当時、大野先生と言う愛知県医師会の副会長をされていた方で、現在は残念なことにお亡くなりになりましたが、彼がその元代議士の後援会長をしていたという事もあって彼に今枝君(代議士)の後援会長を頼んだところ快く引き受けて頂いたという経緯がありました。

そして今枝君(代議士)を自民党の愛知県第14

選挙区支部長にして貰いましたのが4年前になります。それから2年間、全く今枝宗一郎という名前を先生方もご存じなければ地元も知らないという事でした。ところが、2年前という、「3年間の民主党政権はダメだった。もう民主党は嫌だ」という圧倒的なアンチ民主の風が吹いて、その中で、今枝君(代議士)は立候補して初当選し、新人議員になったという経過がございます。この時の活動については、既に連盟ニュースで詳しくお話しさせて頂いております。

その後、私を始め執行部の先生方が「今枝宗一郎、今枝宗一郎」と言って宣伝して頂き、今回の選挙の前になりますと医師会の幹部では、今枝宗一郎という名前を知らない方は殆どみえないという状況にはなりました。しかし、まだまだ今枝の名前は、地域に行つて忘年会、新年会などでお話をしたときに「今枝宗一郎、それはどういう男だ」と言われたことがありました。ただ最近では今枝君(代議士)の名前は周知されたのではないかと思います。

彼(今枝代議士)がこの2年間、愛知県の医師会でもそうですし、14区の中でも駆けずりまわつて知名度を高めて来ました。その対抗馬が、今回の資料にもありますけれど鈴木克昌候補であります。今になって考えると、当時は「14区の田舎だから自民党の方が盤石だろう」と思いましたが、対抗の鈴木氏は蒲郡市長や県会議員をやった本当に政治家の範たる様な人です。元々、自民党の中の内紛のために民主党を飛び出て、その後は小沢さんのところに嫁いで生活の党に移った人で、個人的な人気があるすごい人でした。

しかし、私も(政治家)今枝宗一郎を生み出した責任者ですので、2年前もそうですけれども今回も12月2日の公示の日、それから14日の投票日までの間は、選挙区は豊川、蒲郡、新城地区など3地区に分かれていますので、出陣式とか決起集会など機会があるごとに出かけて行き選対事務所へのネジ巻などをしてきました。お蔭で、あの地域の首長さんや県会議員、市会議員で自民党関係の人とは顔なじみになった訳でございます。

それから今枝君(代議士)に関して言えば、選挙後になる昨年末の12月28日に名古屋観光ホテルで結婚披露宴を行いました。多くの先生方にもご出席を賜り祝福を頂きました。選挙の前は「残念会になったらどうしようか」と心配したのも事実です。けれども小選挙区で勝利し、晴れて彼の祝勝会ができました。

今枝君(代議士)は最年少の国会議員という事

で、しかも今回は国会の解散も分からない時に結婚式を決めたものですから、その後解散となり、結婚式が丁度選挙直前ということで、マスコミも注目したわけです。

それともう1つは、先程も言いましたように、対抗馬が有力な地元の政治家で、しかも解散になってからは、生活の党から民主党に鞍替えした、つまり(元の鞍に)出戻ったという事から、「新婚対出戻り」と非常にマスコミの関心も高くなったわけです。

この様なことから、当確の後の報道ステーションや、また深夜番組でも河村市長との対談、翌日

には中京テレビで彼の選挙活動の軌跡という事で何か番組を組んで報道され、注目度が高い男になったと思います。

これまでお話ししましたように、愛知県医師連盟としてはこれからも彼をしっかりと応援して、今枝君(代議士)がこれから14区の間ではありますけれども14区を固めて今枝王国にして、日本の医療、日本の未来を担って頂ける政治家になって欲しいと思っております。

そのためには先生方に対し、今後とも今枝君(代議士)をこれまで同様応援して頂きたいという事をお願い申し上げる次第でございます。

御礼の言葉



衆議院議員

今枝 宗一郎

この度、昨年12月に第47回衆議院選挙がおこなわれました。突然の解散で選挙体制も充分出来ないままに選挙戦に突入しました。大変厳しい選挙戦でありましたが愛知県医師連盟の先生方をはじめ関係各位皆様の多大なるご支援ご指導のお蔭で2期目の当選をさせて頂きました。心から厚く感謝・御礼申し上げます。

今回の選挙は「日本の経済を本来のアベノミクス路線に戻し、地方や個人所得への浸透を実現すること」を国民の皆様に向うための選挙でした。消費税率引上げが延期され、ようやく動き出した経済の好循環を止めないためでした。財政再建の手を緩めずに、確かな経済対策で、景気回復を加速させます。また、国民の安心安全のために医療・福祉・年金などの充実も進めるための選挙でした。

今まで国会議員1期生として、国民の皆様の日線で活動してきました。国会では総務委員会と厚生労働委員会に所属していました。厚生労働委員会では、健康で充実して働くことが出来る社会を実現するための法律「過労死防止対策推進法」が議員提案で成立させることが出来ました。また地域の医師確保、救急医療の強化など、地域における医療課題の解決を図るため地域医療再生基金も復活され、益々制度の充実の為に努力させて頂きました。

今後、世界に冠たるわが国の国民皆保険を次の世代につなげるため、医療保険制度改革を推進します。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護職員等の人材確保を行うとともに、介護や障害者福祉サービスを担う職員の処遇改善を行い、医療・介護等の充実につなげます。住み慣れた地域で「切れ目のない医療・介護」が受けられるよう、医療機関の病床の役割に応じた機能分化や医療介護の連携の支援と地域包括ケアを進めます。

特に地方でも出産制限される地域が多く、子どもとお母さんの命を守る活動も進めていきたいと思っております。地元の医療体制の充実にも努力してきました。

我が国の医薬品・医療機器や医療サービスの国際展開に向けて、他国における医師・看護師等人材育成、公的医療保険制度整備の支援や民間保険の活用促進、医療技術・サービス拠点整備などの推進も考えていきます。

国際共同臨床研究・治験の推進、日本で承認された医薬品・医療機器も相手国で許認可手続きの簡素化などを取り組み、外国人にも安全・安心に日本の医療サービスを受けられるよう、通訳などの配置、医療機関における外国人患者受け入れ体制の充実を図る情報体制づくりにも努力していきます。

消費税が8%に改正され控除対象外消費税について診療報酬で対応されています。厳しい環境下ではありますが現場で対応できるようプラス改定に努力していきます。財務省にも強く要望しているところでもあります。

「国民の医療を守る議員の会」でも諸問題を議論する中、自民党税制調査会で控除対象外消費税問題を取り上げ、診療所や病院かという議論、ましてや診療科による議論でなく医療機関が同じ方向

を進めるよう努力しています。

また日本医師会が進める医療基本法についても活発に活動していきます。医療のあるべき姿、そこに全てのステークホルダーが共に努力するような、医学生の時代からの思いを汗をかき新たな方向に進めてまいります。

これからも、衆議院議員2期生としてしっかりと働いていく所存です。諸先生方の今後さらなるご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願いさせていただきます。

皆様におかれましては本年が素晴らしい年になりますよう祈念申し上げます。

愛医連推薦候補者の得票と当落

愛知県医師連盟が推薦した候補者は15選挙区で23名中21名が目出度く当選されました。

政党所属議員は、自民党が14名、民主党が7名でした。

選挙区	自民党		民主党	
	候補者名	得票数	候補者名	得票数
1	◎熊田裕通	73,003	●吉田統彦	49,230
2	●東郷哲也	67,681	◎古川元久	102,058
3	○池田佳隆	72,353	◎近藤昭一	82,422
4	◎工藤彰三	66,213		
5	○神田憲次	71,616	◎赤松広隆	84,226
6	◎丹羽秀樹	106,887		
7	○鈴木淳司	108,151	◎山尾志桜里	113,474
8	◎伊藤忠彦	109,723	○伴野 豊	99,058
9	◎長坂康正	98,594	○岡本充功	85,967
10	◎江崎鐵磨	91,978		
11	○八木哲也	97,167		
12	○青山周平	118,165		
13	○大見 正	101,144	◎大西健介	116,652
14	◎今枝宗一郎	77,513		
15	◎根本幸典	97,152		

凡例 候補者名の前の◎は、小選挙区で当選
○は、比例復活当選 ●は、落選

当確報道直後の様子



支援者と喜び合う候補者及び柵木委員長、選対幹部



祝福の花に胸を詰ませる今枝候補と新妻

全国の医系候補者の当落

与党の自民党、公明党が全議席の2/3を確保した中で、与党の社会保障・医療政策のキーパーソンと言われる自民党候補28人、公明党候補3人の全員が当選しました。

一方、野党の民主党候補12名中、元厚労相の長妻昭氏、元厚労政務官の山井和則氏らが議席を守ったものの、元厚労相の細川律夫氏や元厚労副大臣の辻泰弘氏ら6名は当選ラインに届かず落選しました。

また、全国の医師の候補者は、自民党が愛知第14区の今枝宗一郎候補を始めとする立候補者9名全員当選されました。一方、野党では民主党からは医師6人中3人が、維新の党からは医師3人中2人が、それぞれ当選しました。また、次世代の党から医師1人が立候補しましたが、当選には及びませんでした。

候補者名	新旧	当選回数	選挙区	備考
自民党				
鴨下 一郎	前	8	東京13	医師
富岡 勉	前	3	長崎1	医師
三ツ林裕巳	前	2	埼玉14	医師
今枝宗一郎	前	2	愛知14	医師
勝沼 栄明	前	2	比例東北	医師
赤枝 恒雄	前	2	比例東京	医師
小松 裕	前	2	比例北陸信越	医師
新谷 正義	前	2	比例中国	医師
大隈 和英	新	1	比例近畿	医師
民主党				
阿部 知子	元	6	比例南関東	医師
岡本 充功	元	4	比例東海	医師
中島 克仁	前	2	山梨1	医師
維新の党				
伊東 信久	前	2	比例近畿	医師
河野 正美	前	2	比例九州	医師

次期参院選候補に自見英子氏

平成26年11月25日開催された日本医師連盟執行委員会において、平成28年7月行われる第24回参議院議員通常選挙の比例代表候補に、組織を代表する推薦候補者に満場一致で承認されました。

今後は、通称名の自見はなこを使用されることになりました。

※重要なお知らせ

次期参議院選挙の組織内候補に^{じ み は な こ}自見英子氏を決定



日本医師連盟は平成26年11月25日開催された執行委員会において、平成28年7月実施予定の第24回参議院議員通常選挙の比例代表候補として、東京都医師会、東京大学医師会所属の

医師 ^じ ^み ^は ^な ^こ 自見英子氏 (38歳)

を自民党から擁立することに決定しました。

前回に引き続き、候補者を1本化して選挙戦に臨むことになりました。

◎ 自見先生のプロフィール

東海大学医学部医学科卒。

2004年 東海大学医学部附属病院初期研修

2006年 池上総合病院内科後期研修

2007年 東京大学医学部小児科入局・同附属病院小児科勤務

2008年 青梅市立総合病院小児科

2009年 虎の門病院小児科～現在（非常勤）

2010年 国会議員秘書

2013年 NPO法人日本子育てアドバイザー協会理事

その他、江東区大島小児科医院非常勤

大田区池上総合病院非常勤

◎ 通称名の使用

立候補した際の候補者名は、**自見はなこ** と表記されます。